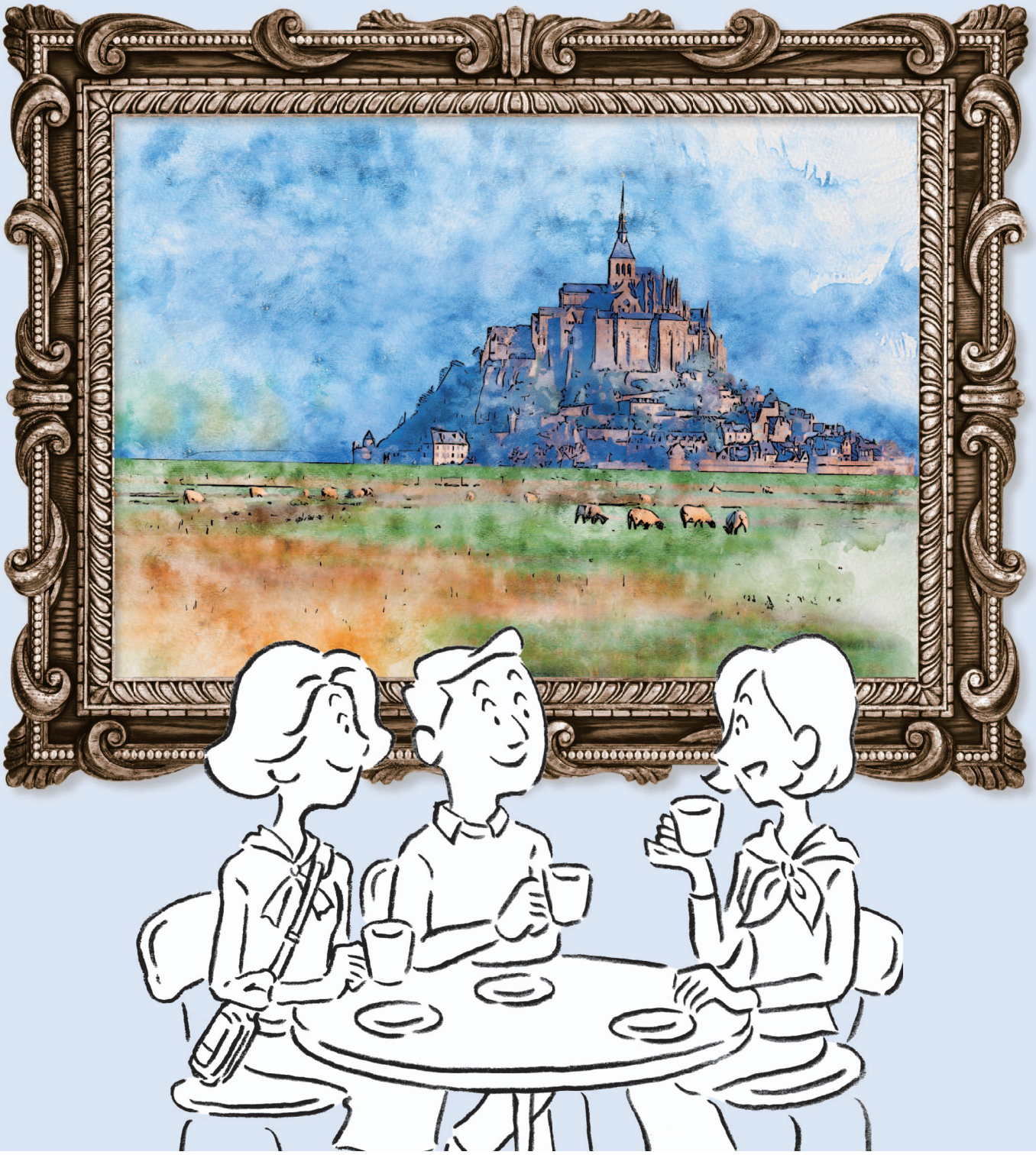
ヴィアレブ®をお使いのみなさまへの情報誌

Vya Circle

ヴィアサークル

Vol. 2

〔総監修〕
独立行政法人 国立病院機構
仙台西多賀病院 院長
武田 篤 先生



abbvie

「伝えたい」と「知りたい」、想いをつなぐ

～ヴィアレブ外来連絡帳を活用しましょう～

長崎北病院では、脳神経内科およびリハビリテーションの分野に力を入れており、多くのパーキンソン病の患者さんが来院されています。

私たちは外来を担当していますが、通院中の患者さんは、医師や看護師との付き合いが長い方、短い方と様々です。すべての患者さんにより良い治療をお届けするために、日々のコミュニケーションを大事にしています。

ヴィアレブ治療においては、当院ではヴィアレブの導入のための説明、退院後の継続的なサポートを外来で行っていますが、治療を開始されたばかりの患者さんは、退院後、自宅などで毎日行う物品交換やポンプ操作に慣れるまで、戸惑ったり失敗することも少なくないようです。

また、患者さんによってはお薬の用量が安定するまで時間がかかりますので、医師は退院後も外来で患者さんの症状にあわせ、薬剤の用量調整などを随時行う必要があります。

そのため、医師や看護師は患者さんの日々の症状の変化やカニューレを留置した皮膚に異常はないか、また何かお困りごとはないかを具体的に伺い、外来の短い時間で得た情報を最大限に治療へ活かしたいと思っています。

一方で、患者さんもお困りごとを解決するために、医師や看護師に詳細な情報を伝えたいと思っておられると感じています。それなのに、いざ外来になると、「上手く伝えられなかった」、「相談したいと思っていたのに別の話で終わってしまった」、「質問されなかったから話さなかった」などの経験をされた方も多いのではないでしょうか。

外来の診察時間には限りがありますが、患者さんの「しっかりと伝えたい、聞いてほしい」という想いと、医師や看護師の「具体的に知りたい、伝えてほしい」という双方の想いがつながることが、より良い治療への近道です。

このたび、患者さんの「伝えたい」・医療従事者の「知りたい」をヴィアレブ治療に関連する様々な項目にして共有・見える化できるように、[患者さんと医療従事者をつなぐヴィアレブ外来連絡帳]が皆さんのお手元に届けられることになったそうです。ヴィアレブ外来連絡帳を手にしたら、まずは気になることをメモすることからはじめてみましょう。

そして、皆さんの「こんなことも伝えたい、あんなことも相談したい」を徐々に整理して、日々の患者日誌の振り返りや、外来でのより良いコミュニケーションの一助となると嬉しいです。

ここでは、普段、患者さんと接する機会が多い看護師の立場から、様々な場面での会話例などをご紹介します。

次の外来で、主治医や看護師と会話をする際に、是非活用してみてくださいね。

本誌が、皆さんと皆さんを取り巻くすべての方々の笑顔につながると嬉しいです。

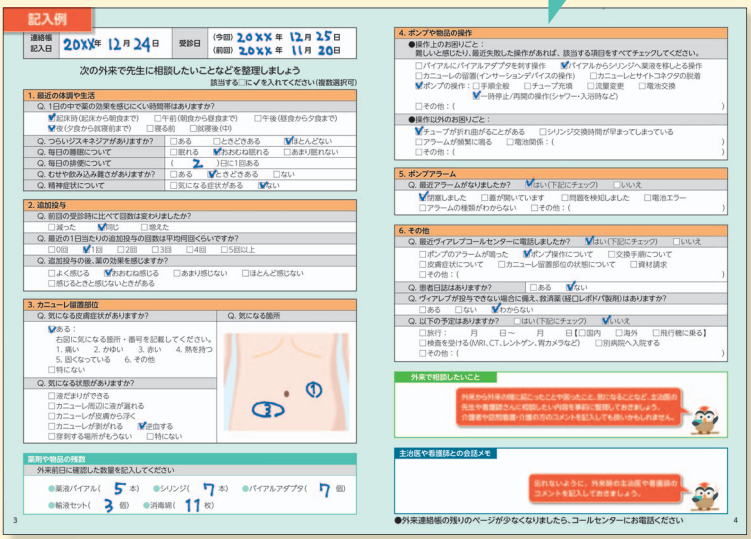
長崎北病院 外来 師長
相川 雅美さん

長崎北病院 外来 主任
白石 彩香さん

ヴィアレブ外来連絡帳をお送りします

前回の外来から今回の外来の間に起こったことや困ったこと、気になることなど、主治医や看護師さんに相談したい内容を事前に整理するためにご活用ください。

1冊で外来12回分が記入できます



(注)本誌では「外来受診」のことを「外来」と省略しています。

患者日誌と外来連絡帳の合わせ技!! どちらも上手く活用しましょう

ヴィアレブ患者日誌

- 毎日記入することが大事です
- 日々の症状を記入しましょう
- カニューレ留置位置、シリンジの交換時間や、追加投与などを記入しましょう

ヴィアレブ外来連絡帳

- 外来受診日の1～2日前に記入しましょう
- 前回の外来から今回の外来の間の患者日誌の記録を振り返りながら、主治医に相談したいことを整理しておきましょう

外来で上手く伝えるためのコツ

- 話は3つくらいに絞りましょう
- 出来事は時系列で話をしましょう（いつの出来事かを明確にしましょう）
- 外来連絡帳に✓を入れた項目で気になることは、「外来で相談したいこと」に具体的に記入しましょう

実際に使っているところをイメージしてみましょう♪

外来受診日が近くなったら記入しましょう

前回の外来から今回の外来の期間を振り返って外来連絡帳に記入しましょう。
最近起きたことばかりでなく、この期間に続いている困りごとや、前回の外来からの変化、また相談しておきたい今後の予定、物品の残数なども書き留めましょう。
ご家族や介護者の方など、客観的な意見も取り入れるといいですね。

例えば、こんな会話が生まれてきそうです

明日は1ヶ月振りの外来ね。
前回の外来からの1ヶ月を振り返ってみようかな。
一緒に手伝ってくれる?

そうね、レントゲン検査を受けるから先生に相談した方がいいわね。それと、シリンジとかの物品はあとどのくらい残ってるかしら?
数を確認して記入しないとね。

もちろん!先生との会話に夢中になって、相談したいことを忘れて帰ってきたこともあったから事前に整理しておきたいね。
来月健康診断の予定があるから、「外来で相談したいこと」の欄にメモしておいて先生と話すときに見ながら話すといいね。

診察前の待ち時間などで看護師さんと外来連絡帳をみながら話をしましょう

日々の生活の中で、清潔操作や、物品の交換方法、ポンプの操作など、わからないことや不安があれば看護師さんに確認するといいですね。
皮膚の状態について相談するときは、外来連絡帳のお腹のイラストを用いて、気になる場所を具体的に示すといいでしょう。

例えば、こんな会話が生まれてきそうです

●●さん、こんにちは。先生の診察前に「外来連絡帳」見せて頂けますか?

物品の残数も見てください。

あら、寝ているときに閉塞アラームが鳴ったんですね。

夜中にアラームが鳴ってポンプが停止したのでびっくりしました。

チューブが引っ張られて折れると閉塞アラームが鳴るので、カニューレを留置する時の方向が大事なんですよ。説明しますね。

なるほど、カニューレのチューブ接続部分をポンプに向けるようにするんですね。

診察室で主治医に「外来で相談したいこと」にメモしたことを伝えましょう

外来連絡帳にメモしておいたことを相談しましょう。
前回の外来から今回の外来の間のことを振り返って、また、次の外来までの間に予定している先のことや生活の変化なども前もって相談しておくと安心ですね。

例えば、こんな会話が生まれてきそうです

来週、健康診断でレントゲンを撮るのですが、撮影時はポンプを外したほうがいいでしょうか。

胸のレントゲン撮影ならポンプは外さなくて大丈夫ですよ。
撮影の際にポンプが映り込んでしまわないように、気を付けてくださいね。
ただし、MRI検査の場合、ポンプは必ず外してから入室してください。MRIは強い磁気を発するのでポンプが壊れてしまいます。
検査中のポンプの扱いは、主治医と事前に話をして指示を受けたことを伝えるといいですよ。

そうなんですね。
健康診断の検査項目によって、MRIに変わることもあるようなので事前に教えて頂いてよかったです。
先生から指示を頂いたことを伝えます。

次の外来までの間に予定していることで、気になることや生活の変化に関わることがあれば今回のように前もって相談してもらえるとお互い安心ですね。

これからもそうします。
外来連絡帳にメモしておいたので、相談するのを忘れずにすみました。

家にもどったら、「主治医や看護師との会話メモ」に記入しましょう

外来での主治医や看護師との会話を記録しておきましょう。
次に外来連絡帳を記入するときにも、前回の記録を振り返ってみるといいですね。
困りごとが続くような場合は、次の外来でも先生に相談してみましょう。

例えば、こんな会話が生まれてきそうです

事前に外来連絡帳を書いて質問を整理しておいて良かった。持参して見ながら話ができるのもいいわね。
先生にアドバイスを貰えたし安心したわ。

以前は相談し忘れて帰ってきてしまうことがあったけれど、今日は全て伝えることができたね。
色々確認できたからよかったね。

毎回のことだけれど、外来受診でも事前の準備って大事ね。
次回も外来の前に整理するのを手伝ってね!!

患者日誌も毎日しっかり記入しないとね。
次に外来連絡帳を書くときにも一緒に見直そう。

外来連絡帳はどこでもらえますか?

外来連絡帳の残りのページが少なくなりましたら、コールセンターにお電話ください。

ヴィアレブ コールセンター

フリーダイヤル
0120-062-510
受付時間：24時間365日〈通話無料〉

製造販売元
アッヴィ合同会社
2024年11月作成
JP-VYAL-240150-1.0

abbvie